

個人積算線量計による外部被ばく線量測定（令和6年度）

○測定について

●測定者数：市民149人

●測定機器：千代田テクノル社製個人積算線量計（D－シャトル）

●年間追加被ばく線量

年間追加被ばく線量とは、2週間の測定結果をもとに、自然の放射線で被ばくする線量を超えて被ばくする線量（年間）を算出したものです。

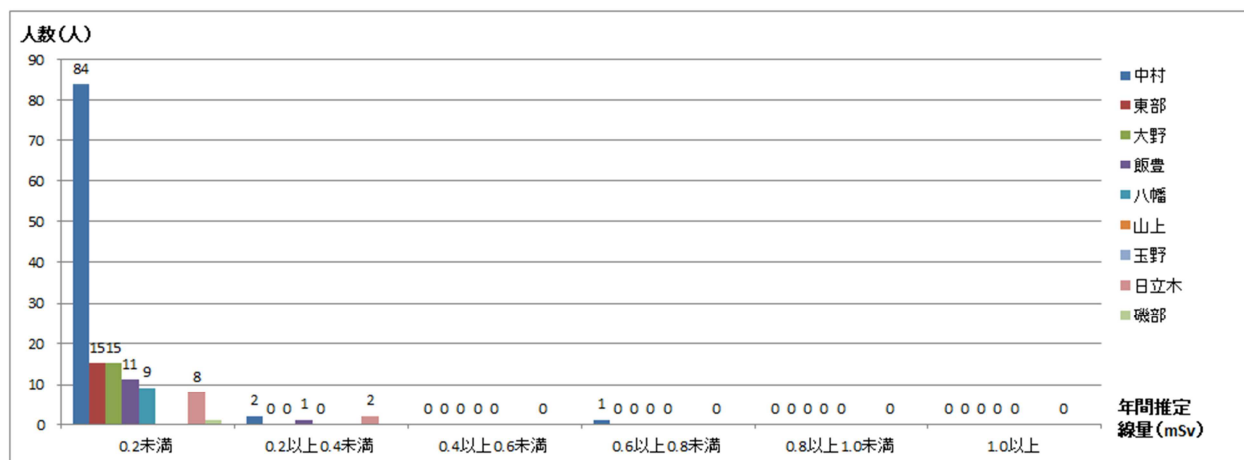
ここで基準となる、自然の放射線で被ばくする線量とは、（株）千代田テクノル社が東日本大震災以前に茨城県大洗町で計測したデータ（0.54mSv/年）です。

○結果について

- ・令和5年度測定の結果相馬市内での追加被ばく線量の最高値は0.719mSv/hで、国が設定した年間追加被ばく線量の目標値（1.0mSv/h）を超える方は0人でした。

▽地区ごとの線量分布

年間推定線量 (mSv)	中村	東部	大野	飯豊	八幡	山上	玉野	日立木	磯部	計
0.2未満	84	15	15	11	9	0	0	8	1	143
0.2以上0.4未満	2	0	0	1	0	0	0	2	0	5
0.4以上0.6未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0.6以上0.8未満	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
0.8以上1.0未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1.0以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	87	15	15	12	9	0	0	10	1	149



▽男女ごとの線量分布

年間推定線量(mSv)	合計人数	男	女
0.2未満	143	68	75
0.2以上0.4未満	5	4	1
0.4以上0.6未満	0	0	0
0.6以上0.8未満	1	1	0
0.8以上1.0未満	0	0	0
1.0以上	0	0	0
計	149	73	76

